

## 2月8日（月）朝礼にて 校長講話

今朝、学校へ来る途中、多くの方が目にしたと思いますが、市内のいたるところにポスターを貼る掲示板が設置されていて、そこに何枚かのポスターが貼られていました。今月14日に弥富市議会の議員選挙が行われます。「僕たちには関係ないや」多くの方がそんなふうに関心意識の中には残らなかったかもしれません。それはなぜか。僕たち、私たちには投票することができません。専門的な言葉で言うと選挙権がないから、関心がないのも仕方のないことなのかもしれません。しかし、今年からは少し違うということをお伝えしたいと思います。

何が違うのかというと、3年生は、卒業する頃には、ほとんど全員が15歳になっています。そしてその3年後、18歳になったらニュースでも知っていると思いますが、選挙権が与えられるようになりました。これまでは選挙権は20歳からでした。しかし、今の若者もしっかりした考えをもっているだろうし、これから将来の国、あるいは弥富市について若者の考えも取り入れていこうということで投票できるように制度を改めました。ですから、中学校を卒業して3年後には自分たちの弥富市、あるいは日本の方向を決める選挙に参加できるということです。決して遠い先のことではありません。3年生の人たちが中学校の3年間を振り返った際、あっという間だったと感じるのと同じで、あっという間に大切な権利を手にするようになります。だったら、今のうちに弥富市の選挙に、誰が立候補しているのか。その人はどういう考えをもっているのか。お年寄りを大切にしようと考えているのか。学校をよくしていこうと考えているのか。道路をしっかりと整備していこうとしているのか。そういうことを直接聞くことは少ないかもしれませんが、家の人に聞いたりして家族で話し合ってみてください。そして、もし、私が投票するとしたら、どんな人に投票したいか考えてみてください。3年後、4年後、5年後、きっと役に立つと思います。

さて、それとよく似た選挙が始まります。生徒会役員選挙です。3年生は卒業するというので選挙することはありませんが、すでに後を託していると思います。1・2年生の人たちは、弥富中学校をどんな風にしていきたいのか、どんな人に託したいのかよく考えて、それぞれの1票を投じて欲しいと思います。